機能一覧

- スライダーからテキストボックスに値を反映させる機能
- 日付ピッカーから値をテキストボックスに反映させる機能
- カラーセグメントからカラーを選び背景色に適用させる機能
- ピッカーで都道府県の選択ができる機能
- 追加1ボタンでSection1に値を追加する機能
- 追加2ボタンでSection2に値を追加する機能
- Section1のセルを押下して画面Dに遷移する機能
- Section1のセルの背景色を変更する機能
- Section2のセルを押下して本日の天気を表示する機能
- 都道府県以外の値を押下でエラーダイアログを表示する機能
- セルの順番を並び替える機能
- 編集ボタン押下でまとめて削除する機能
- 編集ボタン押下で個別で削除する機能

メイン画面



- スライダーからテキストボックスに値を反映させる機能
- 日付ピッカーから値をテキストボックスに反映させる機能
- カラーセグメントからカラーを選び背景色に適用させる機能
- ピッカーで都道府県の選択ができる機能
- 追加1ボタンでSection1に値を追加する機能
- 追加2ボタンでSection2に値を追加する機能

テキストボックにカーソルを合わせると、プルダウンメニューで都道府 県を選択できる機能



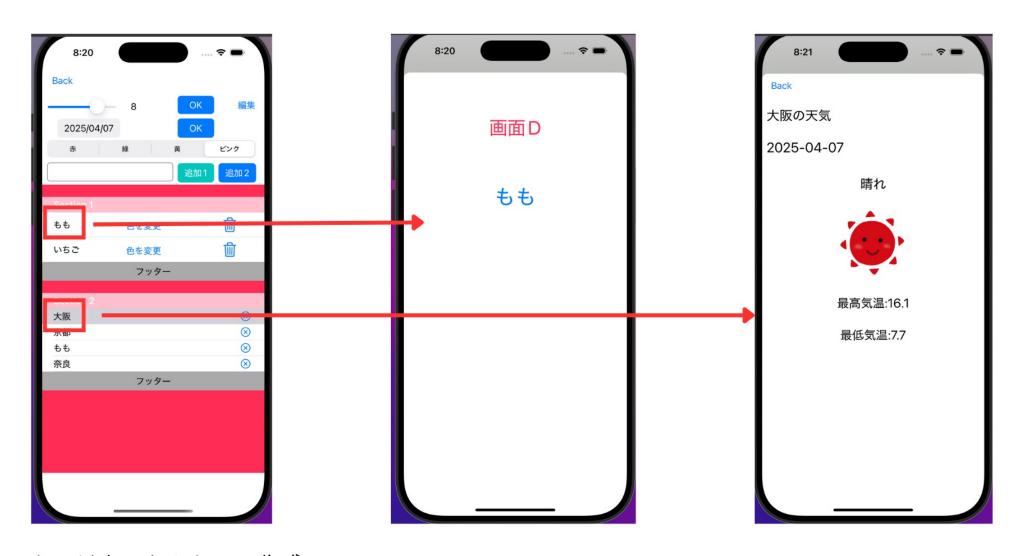


✓section1へ追加するボタン

section2へ追加するボタン

- Section1のセルを押下して画面Dに遷移する機能
- Section2のセルを押下して本日の天気を表示する機能

Section1のセルを押下すると画面Dに遷移
Section2のセルを押下すると天気情報画面に遷移



セルはカスタムセルで作成

- 都道府県以外の値を押下でエラーダイアログを表示する機能
- 編集ボタン押下でまとめて削除する機能

Section2で都道府県以外の値が押下されるとエラーダイアログを表示



編集押下でまとめて削除する機能

- セルの順番を並び替える機能
- 編集ボタン押下で個別で削除する機能

編集押下で順番を並び替える機能

削除アイコンで個別削除する機能



大変だったこと

- カスタムセルを使用したセルの作成に苦労しました。
- Swiftでよく出てくる「デリゲート」という概念の理解に時間がかかり、特にカスタムセルを どのようにテーブルビューへ反映させるかが分からず、何度も試行錯誤しました。

工夫したこと

- UIのデザインよりも機能追加に重きを置き、Swiftの仕組みやコードの動き方を重点的に学びました。
- 実際にさまざまな機能を実装する中で、Swiftの基本的な構文や処理の流れに対する理解が深まりました。